文化の香り高い向日市をめざして

向日市文化振興基本計画

長い歴史と伝統に培われたふるさと、向日市。

この向日市固有の文化を振興させるため、長期的な目標と、その目標を達成するための施策や重点事業などを定めた「向日市文化振興基本計画」が、このほどまとめられました。

平成元年2月に設置された向日市文化振興懇話会（会長　京都大学名誉教授　吉田光邦氏）の提言を踏まえ、この計画が策定されました。

今回のこの計画では、21世紀に向けての達成すべき基本目標として、

①自然や歴史などの文化資源の保全・活用。

②文化の香り高いふるさとづくりを目指す都市イメージの向上。

③人と文化の交流や文化を守り育てる市民文化活動の活性化。

の3点を設定しました。

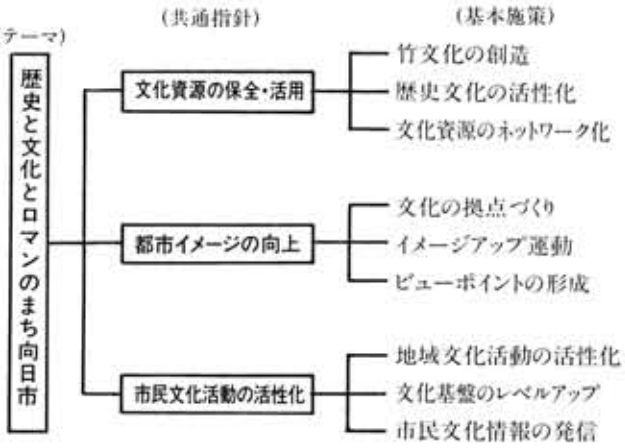
また、重点施策としては竹の資料館づくり・竹イベントの展開など自然的シンボルとしての「竹」の活用、歴史文化の活性化をはかるための文化資料館の機能強化と歴史的環境づくり、市内の文化資源等をお互いに「道」で結ぶネットワーク化とその道や街並の美観整備、市民が身近に高い芸術にふれることのできる場としての「美術館」の建設、西ノ岡丘陵の保全・活用とアストロパーク計画、市民文化活動の支援とその文化基盤のレベルアップ、などがその主な内容となっています。

また、この計画の向日市の将来目標をイメージ的に表現するテーマとして『歴史と文化とロマンのまち向日市』を設定しました。

市では、この計画にそって文化に対する市民ニーズに応え、市民と一体となって文化環境づくりを推し進め、なお一層の文化施策の充実に、積極的に努力をしていきます。

心の豊かさを育む西ノ岡丘陵の竹林

向日市文化振興基本計画の施策体系



好評開催中

第五回「美しい本」展

―俳諧一枚刷りと絵俳書―

図書館では30日（水）まで、新春恒例の「美しい本」展を開催しています。

今回で5回目を数えるこの展覧会。今年のテーマは江戸時代の庶民的な文化である俳諧趣味の中から生まれた「俳諧一枚刷と絵俳書」で、全68点が展示されています。

今回のテーマである「俳諧一枚刷と絵俳書」とは、絵と俳諧を組みあわせた刷物と書物のことで、俳句の傍らに絵を描いたのが一枚刷り、句集に挿絵を施したのが絵俳書で、ともに江戸時代後期を頂点として庶民のあいだに流行しました。

これらは、主として何か特別な機会に作られるものであり、お正月の歳旦帳・歳旦刷り物が特に多く残っています。このほか、剃髪記念、改名記念、襲名記念や四季折々のもの、月例句会のものなどがあります。

初期のものは簡素なものでしたが、やがて、さまざまな形式をとった非常に趣向を凝らしたものが多くなり、江戸時代後期、俳諧が市民生活の中に広く浸透し一般大衆の中に俳諧趣味ともいうべきものが根づいた時代において、ますます見た目にも楽しく工夫された俳諧一枚刷や絵俳書が盛んに作られました。

絵と俳句が織りなす日本的で粋なデザインを、この機会に是非ご鑑賞ください。

なお、今回の「美しい本」展を開催するにあたり、1月19日（土）午後2時から記念講演会を催します。テーマは「俳諧一枚刷の絵と画家達」、講師は関西大学文学部教授　スコット・ジョンソン氏。「美しい本」展、記念講演会ともに入場無料です。多数の皆さんのご来場をお待ちしています

図書館 931-1181

▲絵俳書などの展示　―図書館―

▲記念の俳諧一枚刷

同和問題シリーズ⑤

封建体制の崩壊と差別政策との闘い

新しい明日を拓くため

江戸時代の中頃になると、封建制度が動揺し幕府や藩の財政も悪化しはじめます。その対策として行われた年貢の引上げは、農民の生活を極度に苦しくし、武士への不満を強め一揆などが盛んに発生するようになります。

農民の不満をそらせることにやっきとなった幕府や藩は、被差別身分へ厳しい差別政策を押しつけました。例えば一七九八年（寛政十年）大洲藩（愛媛県）では、7歳以上の部落の人々に五寸四方の毛皮を目立つようにぶら下げることを命じました。

また、もともと庶民に対して大名行列だけに求めていた「土下座」を、被差別部落の人々に対しては農民や町民にも行うように命じた藩もありました。

このような差別政策に対して、抗議し撤回を求める闘いが各地で起こりました。一八五六年（安政三年）、岡山藩で、部落の人々が紋付や柄物の着物を着ることを禁止し、藍染めや渋染めの着物にかぎる法令が出されました。これに対し藩内50余りの部落が団結して反対に立ち上がり、ついには差別法令を実質的に撤回させました。これは、「渋染一揆」といわれています。

このような闘いは、他の地域にも見られましたが、江戸時代には、被差別身分を解放する闘いにまでは至りませんでした

一八七一年（明治四年）政府は、同和地区の人たちに対する身分差別を廃止するという太政官布告いわゆる「解放令」を発布しました。「解放令」は同和地区の人たちが心から願ったものでしたがその内容は、差別的名称を廃止し、身分に差がなく職業の選択が自由であると、形式的に明らかにしたにすぎないものでした。

向日市社会同和研修会

平成2年度（後期）

同和問題の早期解決を目指し、正しい理解と認識を深めるための研修会です。

▽日時　1月24日（木）午後1時～4時

▽場所　市民会館

▽内容　問題提起（ビデオテープ）と分散会

▽お問い合わせ　社会教育課　内線322

シリーズ　向日市の国保⑨　医療費

平成元年の日本人の平均寿命が過去最高の男七五・九一歳、女八一・七七歳となったことが、このほど厚生省から発表されました。

平均寿命とは、平成元年に生まれた赤ちゃんが平均何年生きられるか（平均余命）ということであり、これが50歳の人の平均余命になると男二八・三八歳、女三三・四歳となります。

このように日本が世界の最長寿社会になった原因は、医学の進歩や生活環境の改善などによるものと思われます。しかし寿命が伸びたことにより病気にかかる人が減少したわけではなく、逆に人口の高齢化により増加していると言えるでしょう中でもがん・心臓病・脳血管疾患といった、いわゆる成人病の占める割合は年々高くなっています

すと約23万2千円となります。これらの医療費は被保険者の方々が支払われる一部負担金を除いて国保や老人保健会計などいろいろな制度が負担しますが、向日市の国保は昭和61年度から収支のバランスがくずれ、赤字が累積し財政運営に大変苦心しています。

また、合わせて医療費も増加しており、平成元年度に向日市国保被保険者1万1千6百59人が必要とした医療費は27億5百69万7千円となりました。これを、被保険者1人当たりに直してみま

被保険者の方々には、大切に使うようご協力をお願いします。

○体に異常を感じたら早めに受診しましょう。

○ホームドクターを持ましょう。次々とお医者さんを変えたり、あちこち受診することは健康上もよくありません。また、できるだけ診療時間内に受診しましょう。

国保豆知識

国民健康保険証は一世帯1枚が原則ですが遠くの学校へ通学のため別居したり、家族に長期間出張の必要な人が出た場合申請によりもう1通保険証が交付されます。

ポニーの学校　通園児募集

ことばが遅れがちだったり、人との関係がうまく持てない、あそべないなど、育ちの上で心配やつまずきを持つ就学前の幼児と保護者が対象です。週に1回または2回通園し期間は4月から6ヶ月間です。

▽申込期間　2月1日(金)～20日（水）

▽申込み・お問い合わせ　健康管理課（内線339）またはポニーの学校☎952―5000まで。

シンポジウム
「21世紀を展望した市民スポーツの振興について」
向日市体育協会の果たすべき役割
と　き　1月20日(日)　午後3時45分から
ところ　京都エミナース
主催　財向日市体育協会

'91新春経済講演会

聴講無料

“日本経済の見通し”

―景気の行方はどうなるか―

□講師／京都中央信用金庫 常務理事兼情報開発部長
信谷　昇氏

□日時／1月22日㈫午後7時～8時30分

□場所／向日市商工会館 3階

□定員／50名（定員になり次第締め切ります）

お申込み・お問い合わせ
向日市経済課（内線 336）
京都商工会議所向日支部 ☎933-1368
向日市商工連合会 ☎921-2732

向日市女性のつどい

◎講演会

『女と男のよりよいパートナーシップを求めて』

東京家政大学教授・評論家
樋口　恵子氏

◎合唱コンサート　クール・メール　マードレコーラス

と　き▶2月3日㈰ 午後1時30分から
ところ▶向日市民会館ホール

※保育ルームを希望される方は、1月24日までに社会教育課（内線322）へ申込んでください。

入場無料